

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 28 日作成)

委員会名	都市形成・計画史小委員会	主 査 名：安田 孝
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：鳴海邦碩
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	広く都市形成・計画史に関わるテーマを取り上げ、公開研究会を開催し、大会時に研究会等を企画・運営する。2004 年度には公開研究会と大会時のオーガナイズドセッションと研究懇談会を実施する。	
委員構成 (委員名(所属))	安田孝(摂南大学)宇杉和夫(日本大学)木多道宏(大阪大学大学院)川嶋智生(大阪府立今宮工業高校)加藤仁美(東海大学)中川理(京都工芸繊維大学大学院)諫見康彦(福岡市立博多工業高校)熊野稔(徳山工業高等専門学校)佐々木日嘉里(花園大学)陣内秀信(法政大学)鈴木栄基(岩見沢市役所)砂本文彦(広島国際大学)瀬口哲夫(名古屋市立大学大学院)野中勝利(筑波大学大学院)和田幸信(足利工業大学)	
設置 WG (WG 名:目的)	日本近代都市形成・計画史比較検証WG 20 世紀における日本の都市計画の遺産と課題を明らかにするため、近代都市形成・計画史に関する比較検証をおこなう。	
2004 年度予算	290,000 円	
項 目	自己評価	
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2004 年 8 月 30 日小委員会、ワーキング委員会、北海道大学 10 名参加 2004 年 12 月 11 日小委員会、ワーキング委員会、神戸 9 名参加 2005 年 3 月 15 日小委員会、ワーキング委員会、東京 9 名参加	
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学会大会時にオーガナイズドセッションと研究懇談会を実施した。研究懇談会には約 30 名の参加があり、資料集を公表している。</li> <li>2. 12 月 11 日の小委員会にあわせて、阪神淡路大震災の復興事業施行地区の研究会を開催し、約 30 名の参加ので、現地見学と意見交換を実施した。</li> <li>3. 2005 年 3 月 15 日には、郊外市街地の計画と形成について、公開研究会を開催し、約 30 名の参加ので、活発な意見交換がおこなわれた。</li> <li>4. 日本の郊外、北海道の都市形成、社宅住宅地などの公開研究会で活動の連続性を確認しつつある</li> </ol> <p>委員会 HP アドレス：</p>	
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>当初の活動計画により、大体予定通りの成果が得られた。とくに、北海道の都市形成と再生・再編および郊外居住地の系譜と再編 都市化の中の工場と社宅 は資料集として貴重な成果の公表となっている。</p> <p>また、これらの研究会により、地方都市形成の視点として産業と郊外、社宅住宅地が新たな都市形成のテーマ、方法論として価値づけられた。</p>	
その他評価すべき事項	継続的活動の展開がなされていること、および保存活動にもつながる期待が生まれていること	